

平成 26 年度
建築研究所すまいづくり表彰
地域住宅賞
—受賞作品・活動集—

国立研究開発法人 建築研究所

Published by
Building Research Institute
National Research and Development Agency, Japan

建築研究資料

Building Research Data

No. 166

July 2015

平成 26 年度建築研究所すまいづくり表彰
地域住宅賞
- 受賞作品・活動集 -

Collection of Selected Works
Regional and Cultural Housing Award of Building Research Institute 2014

内海康也, 水谷明大, 岩田司
Koya UTSUMI, Akio MIZUTANI and Tsukasa IWATA

国立研究開発法人 建築研究所

Published by
Building Research Institute
National Research and Development Agency, Japan

はしがき

国立研究開発法人建築研究所は、より良い住宅・建築・都市計画に係る技術に関する調査、研究及び開発を実施することにより、これら技術の向上を実現し、公平・中立な立場から住宅・建築・都市の健全な発展と秩序ある整備に資することを目的として研究開発等の業務を行っています。これら取り組みのひとつとして、1983年度に国土交通省（当時：建設省）の補助事業である地域住宅計画推進事業に代表されるような、気候風土や生産体制などの地域の住文化に根ざした住宅計画に関する研究を継続して実施してきました。

我が国は多様な風土・文化を有していることから、地域によって育まれてきた住文化は多種多様です。他方、現代社会においては少子高齢化・人口減少が進展しており、これら新しい現代の社会的ニーズに応えながらも、地域の住文化を生かし、地域自らが発案、実行するすまい・まちづくりの手法を改めて模索していく段階にあります。このような状況の下で、地域の気候風土や地場産材、構工法等の住文化を十分理解した上で地域の今後の在り方を考えることは有用であると考えられ、地域性を踏まえたすまい・まちづくりを新たな視点から見直すことは現代社会における重要な課題です。

そこで建築研究所では、地域の住文化に根ざしたすまい・まちづくりに関するこれまでの研究開発を総括するとともに、その結果を次代の新たな社会的ニーズにも対応したすまい・まちづくりへと繋げていくために、「平成 26 年度建築研究所すまいづくり表彰 地域住宅賞」を実施しました。当表彰においては全国各地から多くの優れた作品・活動が寄せられ、その中から特に優れた 20 点を選定いたしました。これら近年における作品・活動は、少子高齢・人口減少社会にあつて、人々の生活の基盤となるすまい・まちのこれまでとこれからを考えるにあたり模範的な事例となり得るものであると考えられます。このため「受賞作品・活動集」という形でまとめ、建築研究資料として出版するもので、本研究所の重点課題である「アジアの住まいとその地域性に配慮した省エネ住宅設計技術の移転手法に関する研究」において、我が国の建築技術に係る情報の収集整理を行うことを目的として実施しました。

当研究資料が、地域の住文化に根ざしたより良いすまい・まちづくりに携わる住民・市民をはじめとして、地方公共団体の担当者、NPO やコンサルタント、建設関連業者、あるいは研究者等の方々の参考となり、今後のすまい・まちづくりに資するものとなれば幸いです。

最後に、ご後援を頂いた各団体、ご協力を頂いた皆様、また、当研究資料の出版に際してその意義をご理解いただき、資料への掲載をご快諾いただいた受賞者各位にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

国立研究開発法人建築研究所 理事長 坂本雄三

平成 26 年度建築研究所すまいづくり表彰 地域住宅賞 - 受賞作品・活動集 -

国立研究開発法人建築研究所

住宅・都市研究グループ

研究員 内海康也

グループ長 水谷明大

東北大学 災害科学国際研究所

地域・都市再生研究部門 都市再生計画技術分野

教授 岩田司

(前(独)建築研究所 主席研究監)

キーワード：

地域性、すまいづくり、まちづくり、住文化

概要：

本資料は、「平成 26 年度建築研究所すまいづくり表彰 地域住宅賞」において「地域住宅賞」ならびに「地域住宅奨励賞」として表彰された作品・活動の詳細を「受賞作品・活動集」としてまとめたものである。

我が国は多様な気候風土を有しており、地域によって育まれてきた住文化やすまい方は多種多様である。多くの課題を抱える現代社会にあって、地域に根ざしたすまい・まちづくりを推進していくことには、人口減少・少子高齢社会への対応や地域活性化、地域の持続的発展という側面からも重要な意義があると考えられる。その実践的な取り組みを行うためには優れた先進事例の内容を理解することが有用であり、本研究資料はそのための具体的な事例集と位置付けられる。

地場産材を活かした住宅や既存ストックの活用、コミュニティによる活発な活動、また地域の生産システムに踏み込んだ取り組み等、バラエティに富んだ作品や活動が掲載されており、本資料は今後のすまい・まちづくりの更なる推進のための参考資料としての活用が期待される。

Building Research Paper No,166 July, 2015

Collection of Selected Works
Regional and Cultural Housing Award of Building Research Institute 2014

Building Research Institute

Department of Housing and Urban Planning

Researcher Koya UTSUMI

Director Akio MIZUTANI

Tohoku University

International Research Institute of Disaster Science

Regional and Urban Reconstruction Research Division

Planning Technology for Urban Revitalization

Professor Tsukasa IWATA

Key Words:

Regionality, Housing planning and design, Town and area management, Housing culture

Synopsis:

This book is a collection of selected works and activities for "Regional and Cultural Housing Award of Building Research Institute 2014".

Since Japan has a variety of climatic condition, housing cultures and lifestyles vary from region to region. For the problems facing modern society including aging, fewer children and shrinking population, promoting housing and town development with proper environment could be one of the effective countermeasures to such problems in each region.

These selected works and activities in this book are valued and advanced cases of housing planning and town management which are practiced by considering locally sourced materials, existing housing stock and regional community. We hope this paper will be utilized as an useful reference for the challenge to accomplish better housing environment and community.

目 次

はしがき

概要

平成 26 年度建築研究所すまいづくり表彰について 1

実施の経緯

表彰の意義・目的

建築研究所すまいづくり表彰の実施

受賞作品・活動の選考

受賞作品・活動寸評

審査委員会構成

表彰状

審査委員長審査報告

平成 26 年度建築研究所すまいづくり表彰 受賞作品・活動 19

地域住宅賞 受賞作品・活動

地域住宅奨励賞 受賞作品・活動

付録 65
奥付

